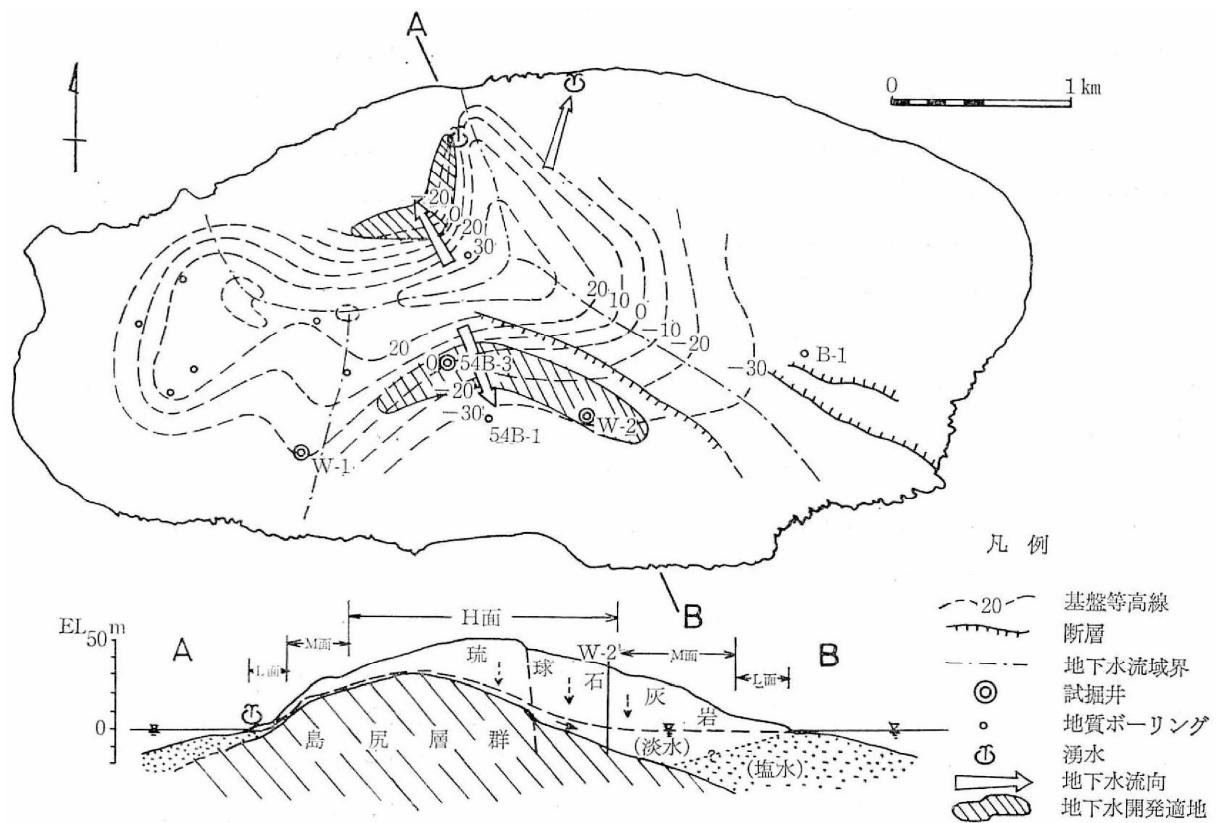


## 地形・地質

波照間島は南西諸島の最南端に位置する面積 12.7km<sup>2</sup>の楕円形の島で、さんご礁石灰岩の島特有の台地状を示し、同心円状に3段の平坦面が発達します。島の全域に琉球石灰岩が分布し、この下位には島尻層群(鮮新～更新世)の泥岩が分布します。

## 地下水

島の全域を透水性の琉球石灰岩が覆っているため、地表水は全くみられず、水源はすべて地下水に依存しています。地下水は琉球石灰岩中に賦存しますが、賦存形態は不透水性基盤の島尻層群(泥岩)の上面形態と海水面との位置関係に制約されます。



波照間島の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）